

## 新聞を身近なメディアとしてとらえ、自らの課題を発見することができる新聞活用

北安曇郡松川村立松川中学校 黒岩理恵子  
授業実践者 柿沼 佑樹

### ・本校の NIE の現状

- 毎日の生活記録のテーマを新聞から探し、それについての自分の考えや感想を書く。(2年)
- 生徒の新聞記事への感想を学級通信に載せた。(2年)
- 新聞スクラップコンクールへの応募。2名努力賞受賞。(2年)
- ハッピーニュース2009への応募。(全校生徒 国語)
- 信濃毎日新聞畑さんによる出前授業。(2年総合的な学習)
- 生徒の疑問や質問(北方領土問題、衆議院選挙など)に対して、特別に授業を仕組んだ。(2年)
- 教室に新聞コーナーを設け、生徒がいつでも手にとって新聞を読めるようにした。(2年)
- 読売新聞のワークシートを、道徳や社会の授業で活用した。(1~3年)
- 生徒会では
  - ・新聞作成ソフトによる「生徒会便り」の発行
  - ・広報委員会による昇降口近くの掲示板への朝刊の掲示
  - ・広報委員会が発行するクラス新聞を、新聞形式に変更
  - ・お昼の放送での、新聞記事の紹介(思案中)
  - ・「ちひろ美術館ボランティア」での生徒の活動を新聞形式でまとめ、広告として活用(思案中)

### ・NIE 実践のねらい

- 新聞に親しむ。
- 新聞を読み、さまざまな時事問題に対して自分の感想や意見を持つことができる。
- 読解力を培う。

### ・研究の概要

- (1) 実践した教科：総合的な学習・国語・社会・道徳・学級通信
- (2) 新聞の提供状況：2学年全クラスに新聞コーナーを設けた。  
生徒の目に留まる昇降口に、朝刊を掲示した。  
図書館に新聞コーナーを設置した。
- (3) 工夫した点：
  - ・生徒が新聞に取りつきやすいように、さまざまな場面で新聞を活用した。
  - ・難しいテーマに限らず、生徒が追究したい問題を設定させた。

### ・NIE 実践の具体的内容

( 実践内容は2ページ目以降)

### ・研究のまとめ

- ・あらゆる場面で新聞を活用しようと工夫をしたため、新聞を手にする生徒が増えた。
- ・生徒たちの日常の会話の中に、社会事象や時事問題についての話題が増えた。
- ・書く力がついた。

### ・残された課題

- ・新聞提供が終了した際にも、新聞活用が活発に行われるようにするためには、どのような実践がよいのか。
- ・新聞を購読していない家庭での NIE はどうあるべきか。
- ・教科の単元展開での NIE。



### 3. 題材の目標

「環境」に関する新聞記事から、「環境問題」に関心を持つ。

環境に関するテーマに沿って問題を提起し、  
調査・取材活動から地域の環境問題について理解を深める。

環境問題を自らの問題として捉え、身近な問題から  
解決に向けて取り組もうとする生徒を育成する。

### 4. 評価の観点及び評価基準

本題材のねらいと目標から、評価の観点及び評価基準を以下のように設定した。

<b>課題設定能力</b>	・新聞記事からテーマや問題点を見出し、 追究の視点を明確にして課題を設定しようとする力
<b>問題解決能力</b>	・問題解決のための見通しを持ち、必要な情報を収集したり、 分析したり、取舍選択したりしながら、得た情報から 自分なりの方法で問題を解決しようとする力
<b>表現力・ コミュニケーション力</b>	・電話での交渉や直接の取材、仲間との話し合いや作業などを通して、 自分の言葉で表現し、相手を理解しようとする力 ・新聞記事から思いを文章に表現したり、 収集した情報を新聞にしたりしながら、思いや考えを伝えようとする力
<b>学習への主体的・ 創造的な意欲や態度</b>	・課題を自身の問題として捉え、主体的に問題に関わろうとする。 ・これまでの学習や活動を振り返りつつ、見直しや修正を加えながら、 納得のいくまで学習を深めようとする力。
<b>「生きる力」の育成</b>	・社会の一員としての自覚を高め、よりよい環境づくりについて 考えようとする力。 ・学習活動の過程やまとめ、自己の成長を実感することができる力。

### 5. 題材追究の見通し (全17時間)

段階	学習活動	時間	支援( )と評価( )
第 一 次	「環境」に関する記事を探してスクラップする。 ・4月から現在まで保存していた新聞の中から、「環境」に関する記事を集め、スクラップする。 ・様々な記事をスクラップする中で、「環境問題」について関心を持ち、考えなければならない問題がいくつもある事を知る。	3	新聞記事に目を通していく中で、記事の数や大きさから気になる環境問題について関心を持つことができるように助言する。 新聞記事から、環境問題に目を向け、興味を持ち、関わろうとすることができる。 【関心・意欲・態度】
	スクラップした記事をじっくり読み、 キーワードを挙げ、気づいたことや感想を書く。 ・切り取った記事の中から、自分の気になる記事を選び、記事をじっくり読んで感想を書くとともに、その記事のキーワードとなる言葉を列挙する。	1	じっくりと記事を読む時間を確保する。 繰り返し書かれている言葉、見出しになっている言葉を確認させ、環境に関するキーワードとして列挙させる。 環境問題を自身の問題として捉え、自分の所感を表現することができる。 【関心・意欲・態度、表現力】
	キーワードを集め、クラスで追究していく 環境についての「追究の柱」を決定する。 ・新聞記事を読んで掲げたキーワードを並べ、全員で見合い、意見を集めながらクラスで追究していく「追究の柱」を決定する。	1	キーワードを取り上げながら、追究していき たいテーマを生徒の意見から決定する。 どんな小さな記事や些細な問題でも追究の意欲を大切にしていく。 環境問題について追究し、解決したいという意欲が持てる。 【関心・意欲・態度、表現力】

第二次	<p>追究したい「追究の柱」ごとに追究班を編成し、分担や問題の現状を把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境新聞作成のため、関心のある「追究の柱」ごとに追究班を編成する。</li> <li>・スクラップ記事や報道等から、テーマについての知識、問題についての現状を理解しつつ、今後の追究テーマを決める。</li> </ul>	1	<p>人数や男女比にこだわらず、自分の興味や関心に沿って追究の柱を選ぶように助言する。生徒達がスクラップした記事をテーマごとに仕分けをさせ、問題を把握させる。問題の現状を受け止め、自身の問題として主体的に問題と向き合おうとする。</p> <p>【関心・意欲・態度、課題設定能力】</p>
	<p>スクラップ記事から問題の現状を理解し、地域に目を向けた追究計画を決定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み合ったスクラップ記事から地域に目を向け、地域で取材活動を行うため追究計画を決める。</li> <li>・インターネットや図書館での調べ学習から、問題についての現状把握と理解を図る。</li> </ul>	1	<p>企業や調査したい場所がある場合は、担任と相談して決定していく。地域から学びたいことが何かを確認し、グループ内の興味、好奇心のもとに追究計画が進んでいくことを確認する。問題の現状を受け止め、主体的に問題と向き合い、解決に向けて取り組もうとする。</p> <p>【関心・意欲・態度、課題設定能力、問題解決能力】</p>
第三次	<p>追究活動(調査・取材活動)をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループの追究活動計画に沿って取材・追究活動をする。</li> <li>・学習場所は、パソコン室、図書館、教室とする。</li> <li>・地域での取材活動に関しては、地域の様子から気になることを考え、企業や家庭、気になる地点から情報を集める。</li> <li>・取材活動では、分かった情報、聞き取った内容、撮影写真等をデータとしてきちんと保存する。</li> <li>・追究活動の中で、信濃毎日新聞社・記者の畑さんをお招きし、新聞作成におけるノウハウを学ぶ機会を設ける。(第3時)</li> </ul>	6 (本時第4時)	<p>企業や私有地等での調査を希望する場合、アポイントは担任がとり、その後の連絡や調査は生徒中心で進めていくものとする。校外取材の場合、副担任に協力を得て進め、行き帰りの交通や礼儀、目的を確認する。調べていく中で追究計画に追加、変更が出てよしとし、納得のいくまで調査していくように助言する。取材や調べ学習等の情報収集や分析から、自分なりの方法で問題を解決しようとする。</p> <p>【関心・意欲・態度、問題解決能力、表現・コミュニケーション力、生きる力】</p>
第四次	<p>これまでの追究活動で得た情報をまとめ、環境新聞を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞作成の講演を参考に、まとめる前にレイアウトを考えさせる。</li> <li>・追究活動で得た情報やデータ、スクラップした記事、撮影した写真、戴いた資料等を上手く有効に活用し、わかりやすく模造紙にまとめ、新聞を作成する。</li> <li>・教室前廊下、松川村公民館(すずの音ホール)に完成した新聞を掲示し、お互いの作品を評価し合う。</li> </ul>	3	<p>役割分担をし、全員が新聞作成に関わるように支援する。見出し、レイアウト、配色等にこだわり、多くの人に見てもらえる新聞にするように投げかける。集めた情報をわかりやすく整理し、仲間と協力して新聞を作成する。</p> <p>【関心・意欲・態度、問題解決能力、表現・コミュニケーション力、生きる力】</p>

## 6. 実践の経過

第1、2時...10月13日(火) 第5、6校時

第3校時...10月14日(水) 第1校時

これまでに新聞記事から生活記録のお題を決めていく中で、「エコポイント制度」「豪雨災害」など、「環境」に関するお題がいくつかあった。環境について興味を示す生徒が多い中、まずこれまで蓄積してきた新聞の中から「環境」に関する記事を切り抜くことにした。班ごとに机を合わせ、各月ごとに担当を決めて切り抜きをした。「森林」「環境」「エコ」「希少動物」などを目にした生徒は、はさみを片手に記事を切り抜き、クリアファイルに保存した。導入段階であったが、生徒は新聞の各欄にくまなく目を通し、切り取るべき環境に関する記事が



を仲間と相談しながら切り取っていった。新聞をあまり読まない生徒にとっても、普段目にしない欄へ目を向けることができ、さらに生徒同士が新聞記事を通して関わりを持つことができた。切り取った新聞記事は50以上におよび、生徒の環境に関する関心の高さと興味が垣間見られた。新聞記事は最後のまとめ用に保存するため、それぞれの記事をコピーし、次時以降に活用していくこととした。

#### 第4、5時...10月20日(火) 第5、6校時

前時までに切り抜いた新聞記事(コピー)をさらに深く見つめるため、切り抜いた記事の中から自分の気になるものを自分が切り取ったものに限らず選び出し、記事をじっくり読み、その記事の「キーワード」となる言葉、気づいたこと、感じたこと、感想等を記入するように投げかけた。まず所定の用紙に選んだ新聞記事を貼り、記事をよく読む。目標は記事についての感想を枠いっぱいに行行制覇。自分の感想、記事の要約を織り交ぜながら、日頃の生活記録の目標と同様に行行制覇を目指して記入していった。「生活記録みたいに行行制覇しなきゃ!」と意気込んで最後まで埋める生徒、「きちんとやるとおもしろい!」と2枚目に取りかかる生徒、自分の切り取った記事に責任を持って感想までしっかり記入しようという生徒など、「こだわり」を持って取り組む生徒が多数出てきた。新聞記事をそのまま書き取ることも可と考えていたが、これまで半年間の生活記録のお題制が力になったのか、記事を要約して自分の所感を記入する生徒が多かった。次時は、生徒達の中から挙がったキーワードを集め、追究テーマを絞っていくこととする。



#### 第6時...11月17日(火) 第5校時

前時に使用した学習カードを全員で見合いながら、共通に挙がった「キーワード」を絞っていくことにした。学習カードを机の上に置き、新たな学習カード片手に全員のカードを見合った。「行行制覇してる!すごい!」といった感想や、「同じキーワードを挙げている!」などといった声が聞かれた。全員のカードを見合った後、生徒に「追究の柱」となりそうなキーワードを挙げさせ、意見を交わし合ったところ...

#### エコポイント、エコカー、温暖化・CO<sub>2</sub>、生き物・動物、森林、マイバッグ

の6つの柱に絞ることができた。どのキーワードも身近な環境に迫れそうなテーマであったため、この6つの柱の下に追究活動をしていくこととなった。「バイオエネルギー」というキーワードも挙がったが、身近な環境内に迫れそうもないとのことで今回は追究活動テーマとして扱わないこととなった。

#### 第7時...11月24日(火) 第6校時

6つの柱の下、グループ分けをして取材・追究活動に取り組むこととなった。グループ分けに関しては、男女比や人数制限を設けず、自分の興味のある柱を選ぶようにした。グループ分け後は、各グループで集まり、グループで新聞製作をしていくという趣旨の下、「新聞社名」「編集長」「記者」「カメラマン」等を決めていくことになった。また、これまで切り抜いた新聞記事をそれぞれのグループに仕分けをし、新聞記事に改めて目を通しながら、グループとして



取り組む「追究テーマ」を決定させた。テーマは、地元の環境に迫ることを目的に設定させ、自らの足で取材・調査活動を行うことを前提に決めていった。テーマを決めた後は、取材・編集計画書を作成させ、計画に沿って今後の活動を進めるように指示した。生徒達は自らの手で新聞社名の決定から新聞製作までを行うことに意欲的であり、新聞記事をじっくり読み返したり、普段気になっていることを口に出したりと、各グループで熱の入った会議が行われた。次時より、各グループの計画に沿って取材・編集が行われていくこととなる。

第8時...12月2日(水) 第1校時 (追究活動 第1時)

各グループが以下のように追究活動をスタートさせる。追究活動では、インターネット、図書館等での学習も許可し、生徒が納得のいくまで追究に打ち込めるようにした。すべての班が近隣の役場や店舗に協力を求め、取材活動を行うこととなった。なお、電話連絡の際は、事前に担任が役場や店舗に取材許可の申請をし、後に生徒が直接電話で再度取材のお願いをするという流れで行なった。

<p><b>(1)エコポイント班</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを使い、エコポイントの仕組みを学習(15分程度)。</li> <li>・浅野電器商会(松川村)に電話連絡。12月8日に中学校にて直接取材することを約束。</li> <li>・インタビュー内容を考え始める。</li> </ul>	<p><b>(2)エコカー班</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを使い、エコカーについて学習。</li> <li>・エコカー関連の新聞記事に再度目を通す。</li> <li>・長野トヨタ大町店に電話連絡。店長不在のため、再度12月4日に電話連絡し、来ていただけるかを確認。店自体は協力的であった。</li> </ul>	<p><b>(3)温暖化・CO<sub>2</sub>班</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・村役場で近いうちに太陽光パネルを設置するとの情報から、役場に協力をお願いする。役場・総務課の須沢さんに連絡。12月8日に中学校にて直接取材することを約束。</li> <li>・インタビュー内容を考え始める。</li> </ul>
<p><b>(4)動物・生き物班</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>役場・環境課の原さんに連絡。12月8日に中学校にて直接取材することを約束。</li> <li>・インタビュー内容を考え始める。</li> </ul>	<p><b>(5)森林班</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>役場・環境課の原さんに連絡。12月8日に中学校にて直接取材することを約束。</li> <li>・インタビュー内容を考え始める。</li> </ul>	<p><b>(6)マイバッグ班</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西友、とをしや薬局、サークルK、セブンイレブンでの取材、調査活動を計画。</li> <li>・西友の店長さんへ電話連絡。次時(12月4日)の調査活動、訪問を約束。</li> </ul>

第9時...12月4日(金) 第5校時 (追究活動 第2時)

各グループが以下のような内容で活動を行なった。

<p><b>(1)エコポイント班</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビュー事項の確認。</li> <li>・役割分担の決定。</li> <li>・インターネットを使ってエコポイントの制度について学ぶ。</li> <li>・インタビュー内容の事前送付。</li> </ul>	<p><b>(2)エコカー班</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長野トヨタ大町店に再度電話連絡し、取材許可をいただく。</li> <li>・インタビュー事項の確認。</li> <li>・役割分担の決定。</li> <li>・インタビュー内容の事前送付。</li> </ul>	<p><b>(3)温暖化・CO<sub>2</sub>班</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビュー事項の確認。</li> <li>・役割分担の決定。</li> <li>・インターネットを使って太陽光発電について学ぶ。</li> <li>・インタビュー内容の事前送付。</li> </ul>
<p><b>(4)動物・生き物班</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビュー事項の確認。</li> <li>・役割分担の決定。</li> <li>・インターネットを使って熊の生態について学ぶ。</li> <li>・インタビュー内容の事前送付。</li> </ul>	<p><b>(5)森林班</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビュー事項の確認。</li> <li>・役割分担の決定。</li> <li>・図書館にて、松川村の航空写真、植物図鑑等を見る。</li> <li>・インタビュー内容の事前送付。</li> </ul>	<p><b>(6)マイバッグ班</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西友にて、来店者の所持数を調査。</li> <li>・マイバッグ普及への取り組みを店内観察、撮影。</li> </ul>

インタビューを次時に控え、インターネットや図書館でわかることはまず自分達で調べて学習しておこうとする班が多く、様々なサイトや資料等で理解を深めながら、班ごとにインタビュー内容を精選していた。

マイバッグ班は、SSV 西友・松川店にて調査活動を行なった。一定時間内のマイバッグ所持率を調べ、店員さんにインタビューを行なった。調査結果と店側のデータとはほぼ数値が一致したとのこと。また、店内に掲示されているマイバッグに関するチラシやマイバッグ売り場等の様子をカメラに収めた。

～森林班の活動から～

図書館にて松川村の航空写真を発見するが、森林部分が一部しか写っておらず、村全体の森林面積がどのくらいなのかわからなかった。役場の方にお問い合わせし、航空写真を見せていただくこととなった。

～動物・生き物の活動から～

熊の生態や被害について、松川村以外の様子をインターネットで調べた。木の幹に熊が残した爪痕等の画像を発見した。村にも被害の後があるという情報を仕入れ、後日見に行ければと生徒同士で話し合った。

第10時...12月8日(火) 第5校時 (学年全体出前授業)

信濃毎日新聞読者センター次長・畑光一さんをお招きし、「新聞を作ろう」と題した講演(出前授業)を学年全体にいただいた。畑さんからは、資料と共に当日の朝刊を生徒全員分いただき、一面を見ながらレイアウト、見出し、記事に関することから、取材に関する方法を学んだ。生徒は食い入るように当日の一面記事を眺めながら、新聞についての知識を学んだ。特にB組は、この後取材授業がある関係から、取材の方法について真剣に聞いていた。グループが以下のような内容で活動を行なった。

第11時...12月8日(火) 第6校時 (追究活動 第3時) 本時

各グループが以下のような内容で取材活動を行った。本来は出向くのが取材であるが、NIE 実践公開授業であったため、5名の地域指導者の方に来ていただき、各班で取材活動を行った。インタビュー内容は事前にFAXで送信し、答えに見合った資料も用意していただくこととなった。

<p><b>(1)エコポイント班</b></p> <p>・浅野電器商会(松川村)の浅野宏生さんに来校していただき、エコポイントの実態や小売店ならではの苦労等についてインタビューを行った。手続きに必要な書類の書き方も実際の用紙を使って説明をしていただき、エコポイント申請の苦労も感じることができた。</p>	<p><b>(2)エコカー班</b></p> <p>・長野トヨタ大町店 営業担当の丸山浩さんに来校していただき、エコカーについてのインタビューを行うとともに、新型プリウスの試乗・見学をさせていただいた。ボンネットの中を見せていただいたり、カタログからハイブリッドカーの性能を学んだりできた。</p>	<p><b>(3)温暖化・CO<sub>2</sub>班</b></p> <p>・松川村役場 環境福祉課の宮澤さん、長谷川さんをお招きし、村で設置予定のソーラーパネルについてインタビューを行った。また、太陽光発電以外の村での環境への取り組みについても質問した。役場の方はデータや資料を元に詳しく説明をしてくださった。</p>
<p><b>(4)動物・生き物班</b></p> <p>・松川村役場 経済課の原さんをお招きし、村の熊の出没情報や対策等についてインタビューした。地図やデータを元に説明をしていただき、自分の家の近くだった生徒は興味深そうにインタビューをくり返した。</p>	<p><b>(5)森林班</b></p> <p>・松川村役場 経済課の原さんをお招きし、過去と現在の森林環境の違いや群生植物の使い等についてインタビューを行った。過去と現在の航空写真や統計データから松川村の森林面積からその差を見比べることができた。</p>	<p><b>(6)マイバッグ班</b></p> <p>・西友へ取材に出かける。店長さん、お客さんにインタビュー。エコバッグの実態やお客さんとしてのエコバッグに対する考え方をインタビューし、熱心に耳を傾けてメモを取っていた。</p>

第12時以降の各グループの取り組み

本時の取材活動の後、各グループが新聞製作に向けて様々な取り組みを行った。以下のように引き続き取材を続けたグループもあった。

~マイバッグ班の活動から~

西友だけでなく、松川村内のマイバッグ普及率を出すこととなり、事前に電話にてアポイントを取り、12月15日(月)にとをしや薬局松川店と100円ショップSeria松川店へ調査・取材活動へ出かけることとなった。調査をする中で、西友に比べてマイバッグの普及率が極めて低いことに気づき、特に100円ショップではほとんど店のビニール袋で対応していることが、店長さんへの質問からも分かった。これまでの統計を元に、56.7%という村内のマイバッグ普及率を算出し、トップ見出しとして新聞を製作していくこととなった。



~エコポイント班の活動から~

小売店と大型店とのエコポイント制度の違いを調査するため、事前に電話にてアポイントを取り、12月11日(金)の午後、EIDEN(エイデン)大町店へ取材に出かけた。まず店内に入ると、「エコポイントサービスカウンター」や商品ごとのエコポイント表示に目を向け、エコポイントを前面に出した販売展開をしていることに気づいた。エコポイント導入におけるメリット、デメリットなど、営業担当の齋藤さんに熱心な質問をぶつけていた。前回の浅野電器さんへの質問と同様な質問から、小売店と大型店の違いを新聞の中で表にしてまとめようという話になった。

## 新聞編集作業の様子から

取材活動を終えたグループから、具体的な新聞編集・制作作業へ移った。信毎読者センター次長・畑光一さんの講話から学んだ知識やいただいた資料、日々眺めている新聞を参考に、レイアウト、写真の選定、見出し、執筆、推敲など、各グループ内で分担を決めて取り組んでいた。中には、テーマに沿った4コマ漫画や色遣いなど、工夫を凝らした製作の姿が見られた。製作する中で、新聞記事や資料、模造紙を輪になって囲み、お互いの意見を述べ合う姿が多く見られた。また、分担して作業する中でも互いの様子をうかがい、アドバイスや助言をするという関わり合いが見られた。新聞を製作するという大きな目標への過程の中で、様々な人間的成長が見られた。



## 新聞の展示

完成後、教室前廊下、松川村公民館(すずの音ホール)に展示し、完成した新聞を広く見てもらう期間を設けた。公民館では快く展示に協力してくださり、ありがたかった。6枚の新聞が並ぶと見応えがあり、興味深そうに眺める人が多かった。特に地域の方に協力を頂いたものなので、見る人の関心も高かった。



## 7. 実践のまとめ

今回の実践から、生徒の新聞への関心の高さを改めてうかがい知ることができた。毎日の生活記録のお題を新聞から取り入れたこと、新聞コーナーを設置して新聞をいつでも見られるようにしたことなど、新聞に接することのできる環境にしてきたことが結果につながったと考える。また、これまで環境に関する記事に目を通してきたこと、「エコポイント制度導入」「COP15」「環境税導入」「ハイブリッドカー売れ行き好調」等の環境についての記事、環境問題についてのテレビ報道等で環境への関心も高まってきたことで、より環境新聞という目標に向かって意欲を持って取り組むことができたのだと考える。自分達の将来の環境像を描きながら、まず自分達の目で、耳で現在の実態を確認することができたのは大きな収穫であった。今回の活動から、「自分達にできること」を再確認し、将来を見据えて自分から環境問題について考え、実践してほしい。



新聞製作では、1つの新聞記事や模造紙を囲み、皆で意見を述べ合う姿が多く見られた。今の社会は科学技術が飛躍的に進歩し、情報化やメディア化が進んでいる。生徒達の中の生活環境の中でも、パソコン、テレビゲーム、テレビ等、家族や友人と一緒に生活する中でも物を一方向から見ながらコミュニケーションをとることが増えてきている。また、共働きの家族の増加、少子化等により、より生徒同士や家庭内での人と人との関わり合いが少なくなっているように感じられる。新聞をじっくり一人で眺めていくことも大切であるが、1つの記事から派生し、多くの生徒が新聞の同じ記事に目を通したり、グループで同じ新聞記事を製作したりすることから、コミュニケーション力を高め、社会で生きる上での人間としての力をつけていくことができる手段として、新聞活用教育のあるべき姿を垣間見ることができた。今回の取り組みにより、グループ内の協力姿勢、絆が芽生え、より太い関係作りができたように思う。本離れや新聞をとる家庭の減少が課題ではあるが、新聞の活字から学力の向上に限らず、心の教育を図ることも今後の学校教育には必要になってくると感じた。



最終的に新聞が完成し、学校内の生徒や先生方、すずの音ホールの来館者の皆さんに広く見ていただくことができ、生徒も満足感と達成感を味わうことができたように思う。来年度は学級活動や総合学習だけに限らず、生徒会活動の中で新聞を活用し、「新聞作成ソフトを使っての生徒会便り発行」「企画放送による新聞記事の紹介」「広報活動における新聞導入」等を検討している。